

1	事業名称	信州高遠 星座観察会				
2	新規・継続	新規	1年目			
3	趣旨	国立信州高遠青少年自然の家の各種望遠鏡を使って、高地特有のきれいな星空を観察してもらい、宇宙や山の自然への興味関心を高めてもらう。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	11月9日(金)	～	11月10日(土)	1泊2日
		2回	11月10日(土)	～	11月11日(日)	1泊2日
		3回	11月16日(金)	～	11月17日(土)	1泊2日
		4回	11月22日(木)	～	11月23日(金)	1泊2日
		5回	11月23日(金)	～	11月24日(土)	1泊2日
		6回	11月30日(金)	～	12月1日(土)	1泊2日
		7回	12月1日(土)	～	12月2日(日)	1泊2日
		8回	12月14日(金)	～	12月15日(土)	1泊2日
9回	12月15日(土)	～	12月16日(日)	1泊2日		
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	270人 (各回30人)				
7	共催・協力・後援	なし				
8	参加者人数	回数	人数		回数	人数
		1回	男9人	女7人	6回	男13人 女16人
		2回	男10人	女19人	7回	男8人 女14人
		3回	男11人	女9人	8回	男18人 女9人
		4回	男10人	女6人	9回	男9人 女18人
		5回	男13人	女19人	合計	男101人 女117人
9	参加者類型	累計	人数			
		小学生未満	20人			
		小学生	100人			
		中学生	12人			
		大人	86人			
10	参加者地域	全参加者 長野県内在住者				
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4年生以上を参加対象としたが、家族で参加することが多く、小学校3年生以下の子どもの参加が目立った。</li> <li>・新宿区内の小中学校に広報したが、参加がなかった。短いプログラムのために遠くから参加することに負担を感じたためだと思う。</li> </ul>				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		58%	36%	5%	1%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木星の様子がはっきり見えて感動した。また、たくさんの星がきれいに見えるので、プラネタリウムで学習した星座の並びや位置を夜空で確かめることができた。</li> <li>・星が見られなくて残念だったが、星座早見盤作りは楽しかった。</li> <li>・これから親子で夜空を見上げながら、様々な会話ができるようになると思うので、参加してよかった。</li> <li>・研修指導員の方の話は、新しい発見があり、宇宙の広大さを実感できた。しかし、子どもには難しい内容が多く、話の時間もやや長かった。</li> </ul>				
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期、利用者が少ない当所にとっては、「標高約1200mに位置する国立信州高遠青少年自然の家の冬の夜空は、星がきれいに見られる。」という長所をアピールすることができた。今後の利用者増につなげたい。</li> <li>・今後、様々な事業において、夜のプログラムに「星座観察」を位置づける機会を増やし、事業内容の充実を図ることができる。</li> </ul>				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の負担を減らし、効率よく毎回の運営を行うため、星座を観察する以外に、特別な活動プログラムを設定しなかったが、せっかく当所まで来ていただいたので、もう一つ自然に関する活動プログラムを導入するとよい。</li> <li>・今年度は、9回の観察会の内4回が、曇天等で星を見ることができなかった。天候に左右される事業なので、星を見られないときの活動プログラムの開発に努めなければならない。</li> </ul>				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当所には、研修指導員による活動プログラム「星座観察」があるため、その内容をそのまま事業のプログラムに導入した。しかし、担当職員が意図する内容とずれがあり、第2回の星座観察会では、研修指導員の話が70分、望遠鏡による星座観察が20分であったため、参加者の満足度は低かった。担当職員として、もっと研修指導員と打合せを綿密に行い、担当職員がイニシアチブをとって進行する必要がある。</li> <li>そこで、第3回星座観察会からは、毎回、研修指導員と事前の打ち合わせを行い、90分の観察時間を充実したものに改善した。参加者の満足度はアップしたが、研修指導員は話を始めると、星座や宇宙のすばらしさを伝えようと熱心になり、ついつい話が長くなった。話をもっと短くして、観察の時間を長くすることを、通常の活動プログラムでも行っていただくことを、呼びかけていく必要がある。</li> </ul>				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
<b>1日目（土）</b>		
18:00～18:10	ガイダンス	国立信州高遠青少年自然の家職員
18:10～19:00	夕食	
19:30～21:00	星座観察会 ①研修指導員紹介 ②家族交流レクリエーション ③プラネタリウム視聴と解説 ④屋外で望遠鏡による星座観察 ⑤300mm反射望遠鏡による星座観察 ⑥研修指導員によるまとめ	研修指導員 国立信州高遠青少年自然の家職員
	雨天時および曇天により観察できない場合 ①研修指導員紹介 ②家族交流レクリエーション ③プラネタリウム視聴と解説 ④300mm反射望遠鏡の操作体験 ⑤星座早見盤作り ⑥研修指導員によるまとめ	
21:00～21:30	入浴	
<b>2日目（日）</b>		
7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
7:20～8:00	朝食	
8:00～9:00	清掃・荷物整理	
9:00～9:20	アンケート記入 (解散後、希望者は当所の活動プログラムを体験)	国立信州高遠青少年自然の家職員



レクリエーションで自己紹介



プラネタリウム視聴と解説



屋外の望遠鏡で星座観察



研修指導員による望遠鏡の説明



星座早見盤作り



研修指導員による星座早見盤の使い方の説明